

平成 28 年 2 月

症例検討

八代店

放射線治療後の口内炎について

<患者背景>

89 歳 男性

心サイコドーシスで 30 年間大学病院に通院、平成 26 年埋込型除細動器移植手術、ステント留置術など経て、内服加療により心機能は比較的安定している。

平成 27 年 7 月に左上顎歯肉瘤切除手術、放射線治療開始。

その後、口内炎疼痛が持続し左の唇付近の痛みもあり食べ物もこぼれ落ちるようになる。

徐々に経口摂取量が減少し身体の著しい衰弱が認められた。大学病院への定期通院も困難となり、平成 27 年 11 月より在宅療養となる。

退院処方より継続して出された処方

Rp

ロキソニン錠 3 錠 分 3 毎食後

ベリチーム顆粒 2 g 分 3 毎食後

エンシュア・リキッド 1500ml 分 4

リリカカプセル 25mg 2 Cap 分 1 朝食後

ネキシウムカプセル 20mg 1 Cap 分 1 朝食後

プレドニン錠 5mg 2 錠 分 1 朝食後 隔日投与

リバロ 1mg 1 錠 分 1 夕食後

リリカカプセル 75mg 1 Cap 分 1 夕食後

ケーサプライ錠 600mg 1 錠 分 1 夕食後

エリキユース錠 2.5mg 2 錠 分 2

シグマート錠 5mg 3 錠 分 3

① アルロイド G 内用液 320ml

② プロマック顆粒 8 g

※ アイスボール含嗽用

頓服：①と②を混合し冷凍庫で凍らせて使うか混ぜたものをうがい

1 回 5ml

○抗がん剤投与後、放射線治療後の口内炎について

- ・抗がん剤投与を受けた患者さんの35～40%が口内炎を発症、大量の抗がん剤や頭頸部への放射線照射を行った患者さんに頻度が高い
- ・口内炎が発生すると、口腔内の痛み、赤く腫れる、出血するなどの症状や、口内乾燥、食事がしにくい、飲みにくい、話がしにくいなど患者さんのQOLに影響
- ・口内の粘膜は、感染から生体を守る防御機能としても重要で、口腔内粘膜が破壊される口内炎は全身感染をも引き起こすリスクも大きくなる
- ・口腔粘膜の上皮細胞の寿命は短く、通常7～14日で再生し増殖性が高い為、抗がん剤や放射線で障害を受けやすい
- ・抗がん剤投与や、放射線照射により口腔粘膜にフリーラジカル（活性酸素等）という反応性の高い物質が発生、これは抗腫瘍効果の発現にも重要だが、口腔粘膜を傷害するという副作用も発現させると考えられる

以上の事より、抗がん剤や放射線照射後の治療や生活を維持していくためには口腔ケアが必要となる。

○ アルロイドGプロマックうがい液について

①アルロイドG内用液 20ml

②プロマック顆粒 15% 1包 0.5g 1包

- ① と②を混合し1回 5ml を1分間口に含む。その後内服あるいは吐き出す
1日4回実施

『プロマック（ポラプレジング）』

潰瘍のある部位にくっついて覆い、粘膜を修復する。

胃粘膜だけでなく口腔粘膜にも効果がある。

フリーラジカル除去作用をもつ。

亜鉛を含有することから、味覚障害の改善や組織修復の促進効果も期待される。

『アルロイドG（アルギン酸Na）』

粘膜保護作用、止血作用を持つ。

プロマックをアルロイドGに混ぜる事により患部へ直接付着することが期待される。また、今回アイスボールにすることにより、より長く口腔内に留められ、冷却効果による症状緩和と口腔内が潤うため乾燥予防効果も期待できると考えられる。既にできてしまった口内炎の治療には、フリーラジカル消去作用しかない薬剤よりも有効性が高いと考えられる。

今回、混合するさいに、溶けやすくするため、プロマックを乳鉢でつぶしてからしっかり混合しました。

冷蔵庫で保存し患者宅で凍らせてから使用。

○その他、主な含嗽剤と使用方法

- ・ ハチアズレ(アズレンスルホン酸ナトリウム水和物+重曹)
ハチアズレ 10 g +グリセリン 60ml を精製水（加水全量 500ml）に溶解
1回 50ml 含嗽
※軽度の口内炎、粘膜炎に使う。粘膜保護、創部治癒促進作用があるが、消毒作用はない。
- ・ リドカイン塩酸塩+ハチアズレ
リドカイン塩酸塩 50ml+ハチアズレ 5g を精製水（加水全量 500ml）に溶解
適宜含嗽
※疼痛が著明な時に使用。
- ・ アロプリノール
アロプリノール 500mg+ポリアクリル酸ナトリウム 0.5g+リドカイン塩酸塩 100ml を精製水 400ml に溶解
適宜含嗽
※アロプリノールはフリーラジカル除去作用があり口内炎の予防に効果がある
- ・ スクラルファート
スクラルファート水和物
1回 10ml を 2 分間以上口腔内に含ませる

参照：厚生労働省 薬物性口内炎

食塩水	NaCl 9g 水1000ml	NaCl9g を水1000mlに溶かす	含嗽水	口腔ケア介入が困難な程度の重症口内炎、口腔乾燥	1日5回～8回、頭頸部領域の放射線化学療法、造血幹細胞移植時の重症口内炎に使う。口内炎で疼痛が強い場合も、粘膜の刺激が少なく含嗽できる。
ハチアズル	ハチアズル5包/日 <i>(ハチアズル5包を毎日4回ずつ飲む)</i>	1回2gを水、微温湯100mlに溶かす(2%重曹水)	含嗽水	手術周期前の口腔ケア、咽頭炎、扁桃炎、口内炎	1日5回～8回、一般的な軽度の口内炎、粘膜炎に使う。粘膜保護、創部治癒促進作用があるが、消毒作用はない。
イソジンガーゲル	30ml 1本	2～4ml 水60mlに希釈(約30倍希釈)	含嗽水	咽頭炎、扁桃炎、口内炎の感染予防、消毒	1日5回～8回、含嗽剤で消毒作用がもつとも強い。エタノールが含まれており、口内炎、咽頭炎が強いときはアルコール刺激が強々注意が必要。
オキシドール	オキシドール3%標準	口腔内局所消毒時は2～3倍希釈 洗口時は10倍から20倍希釈	含嗽水	口腔粘膜消毒、口内炎洗口、舌苔	1日5回～8回、もしくは口腔内清掃処置時 口腔粘膜出血、口腔乾燥による痂皮付着、舌苔の付着時の口腔清掃または洗口に使う。痂皮除去時の剥離を容易にする。
アイスボール	水	氷皿に水を入れ冷凍庫で氷玉つくる	氷玉	放射線または化学療法による口腔粘膜炎	1日5回～8回氷玉を使って、口腔内をクーリング。 口腔内で、1回に3個から5個をゆっくり口腔内で溶かし飲み込む。 注意 ハチアズルを氷らずと苦いので、ハチアズルは入れない 放射線性口内炎、化学療法による口内炎の疼痛、咽頭炎による嚥下痛に使う。食事の口内痛は毎食前(直前)に含嗽する。(これは、グリセリンの味が嫌いな患者に使用するとよい) 1回20mlを口腔内に含みゆっくり口腔内でぐちぐち含嗽2分間。
食塩水・キシロカイン	NaCl 9g 水1000ml ※ 4%キシロカイン5ml、10ml、15ml	食塩水に対してキシロカインを添加	含嗽水	放射線または化学療法による口腔粘膜炎、咽頭炎、食道炎	
ハチアズル・グリセリン	ハチアズル5包 グリセリン60ml 水500ml	ハチアズル5包 グリセリン60ml を水500mlに溶かす	含嗽水	口腔内乾燥症、放射線治療による唾液分泌減少時の口腔乾燥	1日5～8回 口腔乾燥があり、かつ 口内炎、咽頭炎発症時に使用する。グリセリンの味が少し甘い。疼痛ある時は、キシロカイン入りの含嗽に変更したり、併用する。
ハチアズル・グリセリン・キシロカイン	ハチアズル5包 グリセリン60ml 水500ml ※ 4%キシロカイン5ml、10ml、15ml	上の含嗽水に対してキシロカインを添加	含嗽水	口腔内乾燥症、放射線治療による唾液分泌減少時の口腔乾燥	放射線性口内炎、化学療法による口内炎の疼痛、咽頭炎による嚥下痛に使う。食事の口内痛は毎食前(直前)に含嗽する。 1回20mlを口腔内に含みゆっくり口腔内でぐちぐち含嗽2分間

含嗽剤系

アルロイドG	アルロイドG 10ml～20ml/1回	消化性潰瘍治療薬	内用液	食道癌、喉頭癌、下咽頭の放射線治療の咽頭粘膜炎	放射線性口内炎、化学療法による咽頭炎による嚥下痛がある場合、粘膜保護作用、止血作用をもつ。食前使用で咽頭痛緩和できる場合もある。
アスノール・キシロカイン軟膏	アスノール軟膏5g キシロカインゼリー1ml	キシロカインゼリー1本30mlとアスノール軟膏150gを混合する	軟膏	口唇部、頬粘膜部の放射線、化学療法時の粘膜炎	口唇など口腔粘膜炎に直接塗布する。持続時間は10分から15分と短い。口内炎が限局し、局所的に使いたい場合に有効。
ハイザック	舌表面にスプレーで噴霧もしくは溶液を舌表面に綿球で塗布	口臭予防剤	口腔内噴霧または塗布	舌苔が多く口臭が強い場合または終末期の呼吸に由来する口臭	舌の表面につく細菌が分解してできる揮発性硫化水素を亜鉛により分解する。口腔内に腫瘍が増大し、組織壊死によるにおいが強い場合もそれなり効果がある。1日3回くらいの使用で口臭コントロール可能。
オーラルバランス	チューブより適量	市販口腔粘膜ゲル状保湿剤	口腔粘膜塗布	頭頸部がん放射線治療後または大量化学療法後の口腔乾燥、ターミナル期の口腔乾燥症状	口腔内乾燥が強い場合、保湿時間がもっとも長く数時間もつ。放射線による口腔乾燥に効果的。キシロカイン成分が入っている。
サラジエン	15mg/3回 (1錠5mg)	口腔乾燥症状改善薬	錠剤	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善	1回5mgを1日3回、食後に経口投与する。投与後1時間ぐらいで唾液分泌促進される。6～7割の患者に口腔内乾燥症状の軽減ある。副作用は発汗。
サンスターハトラーSG 保湿ジェルスプレー	スプレーより適量を直接口腔内に噴霧	口腔乾燥症状の緩和	口腔内噴霧または塗布	頭頸部がん放射線治療後または大量化学療法後の口腔乾燥、ターミナル期の口腔乾燥症状	口腔乾燥が強いときに使用。ジェルと違い、スポンジや指につけて塗布する手間がいらない。保湿成分はムチナーレという保湿成分。保湿時間は約30分から1時間ほど。

その他

市販品